

1. カンボジア政府、タイ人活動家の減刑を検討

2013年1/10、カンボジア外務省は、同国とタイとの国境未確定地帯に立ち入り、スパイ罪で実刑判決を受け、服役中のタイ人活動家2人について、減刑を検討していると発表した。タイ人活動家の2人は、2010年12月下旬、タイ下院議員らと東部サケーオ県から国境未確定地帯に立ち入り、カンボジア政府に身柄を拘束されていた。他の5人は間もなく釈放されたが、反タクシン派「民主市民連合(PAD. 黄シャツ)」に近い「タイ愛国ネットワーク」の幹部とその秘書の2人はスパイ罪に問われそれぞれ禁固8年と6年の刑を言い渡され、プノンペンで服役している。カンボジア政府は、2/4に予定されている故シアンマーク前国王の火葬に合わせ、恩赦を実施する可能性がある。

2. タイ政府、最低賃金アップで、周辺諸国から不法就労者急増を警戒

タイでは2013年1月1日から、最低賃金が1日300バーツ(約10US\$)となったことで、カンボジア・ラオス・ミャンマーなどの周辺諸国から不法就労者が急増すると見て、監視態勢を強化している。カンボジアと接する東北部プリラム県も監視強化の対象で、同県にはカンボジア人労働者がタイに不法入国できる場所が少なくとも15か所はあると言われている。

3. ストライキ関連

① Tai Yang 社の仲裁裁判の行方

12/17、GAP やリーバイスなどより受注している3つの縫製工場において、長期間にわたって行われていたストライキにより解雇された労働者たちが、補償金の支払いを求め道路を占拠した。仲裁審議会の発表によると、Kandal 州 Ang Snuol 地区にある Tai Yang Enterprises には、8月に退職した53人の労働者に対し、仲裁審議会は「53人の労働者の復職、あるいは彼らに退職金を支払えという雇用者への要求は拒否する」との採択を出した。その理由は「労働者たちは、州裁判所によりストライキ停止命令が出ていると知っていたにもかかわらず、それを無視してストを行った。よって、仲裁審議会は労働者たちが職場を勝手に放棄したものと見なす」というものである。

6/25から、数千人もの労働者が3つの工場(Tai Yang I と Tai Yang II、そして Cam-well)を取り囲んでのストライキを行なった。彼らの要求は年功加給の支払いであり、ストライキには一番多いときで4千人もの労働者が参加していたが、ピーク外だと参加者は100人以下となっており、ストライキは2ヶ月以上にもわたって続いた。そのため、1つの工場を閉鎖する事になり、会社側はストライキにより600万ドル以上の損害があったと訴えている。

ブラックリストにのった労働者の1人 Pho Han 氏は、「我々は悪くない。とても不公平な判定だ」と、裁定に反応して怒りを見せた。ストライキ参加者は「裁判所の命令に従ったが締め出されていたのだ」と語った。また、カンボジア労働組合連盟の代表者である Rong Chhun さんは、「会社は労働者に対し支払うべき金額をきちんと支払うべきである」と話した。国際労働連帯アメリカセンターの地域部長である Dave Welsh 氏は、何らかの方法で労働者に補償が支払われることを望み、「これはもうブランド各社の手中にあります。しかし、労働争議はいまだ継続している問題です。最低条件を上回るものであれば、どんな内約も認められています。しかし下回ってははいけません。ボーナスの規定をなくすために法廷用語を故意に誤用することは許されません」と話している。一方で、Tai Yang 工場の経営者である Wu Minghuor 氏は、「この裁定は正しいものであり、我々は労働者たちになんどもチャンスを与えましたが、それを拒んだのは彼らです」と話した。

② Xing Chang Xing garment 社にてストライキ

12/24、プノンペンの Russey Keo 地区に位置する縫製工場において、労働組合代表者の主導によって1000人規模の抗議活動が行われた。彼は「会社が自分を叩きのめすためにギャングを雇った」と訴えており、工場側はこれを否定している。The Coalition of Cambodian Apparel Workers' Democratic Union の組合リーダー Chhim Sam 氏は、「私が一人で工場の近くを歩いているときに、メケンサックと大包丁を持った男が襲いかかってきた」と話している。Sam On さん



は、「自分が行なっている組合活動を理由に、誰かが命を狙っているとの噂を耳にしていたが、抗議活動停止を拒んだ際に会社がギャングを雇ったという話を聞き、その噂が本当であった」と確信したようだ。工場の経営者である Yang Jin Sang 氏は、この告発内容に関して否定し、「組合リーダーとその他の人々との間に起こった問題は、私たちの関するところではありません」と話す。

労働者側は、「病欠した労働者への賃金支払いや食費の負担、女性への福祉改善などを含んだ16もの項目全てが満たされるまで抗議活動を続けるつもりだ」と話している。

③ Conpress Holdings factory 社の抗議活動で警備員とのもつれにより、労働者2人が病院へ搬送

12/26、プノンペンの Meanchey 地区にある Conpress Holdings factory 社では、工場の警備員に暴力をふるわれた2人のデモ参加者が怪我を負い、病院へ搬送された。Free Trade Union officer の Ry Sithinet 氏によると、「Conpress Holdings factory 社に関しては、200人程度の労働者がタイヤを燃やすなどの抗議活動を工場前で行っていた」と話した。警備員側は「燃やされたタイヤの消化活動を行っただけであり、怪我を負わすような暴力は振るっていない。防犯カメラを確認すれば分かる事だ」と述べた。

④ プノンペン公会堂は、250人規模のデモ実施届けを受け付けず

12/26、プノンペン当局は、「抗議活動が実施されるルートが、故シアヌーク国王の喪中式典の邪魔になる」とし、250人規模のデモ活動の申請を却下した。

Cambodia Confederation of Unions の Rong Chhun 代表は、「この決定は不適切な返答だ」と話し、「我々は給与を61ドル/月から150ドル/月への上昇を訴えたかったのだ。デモは却下されたが、12/30にはなんらかの抗議活動を実施するつもりだ」と話している。

⑤ Master and Frank garment 社工場にてストライキ発生

Kandal州 Ang Snuol 地区にある Master and Frank factory 社にて、12/25朝、警官が抗議活動中の労働者と衝突し、女性3人を含む4人の労働者が怪我をした。この抗議活動は解雇された11人の労働者の復職、及び食費補助を求めたストライキであった。

Coalition of Cambodian Apparel Workers' Democratic union member のメンバーである Saom Sokhim 氏の話によると、「Master and Frank 社で行われたデモ活動には、300人の参加者に対し電気警棒で武装したおよそ50人もの警察官が投入された。この衝突により男性1人と妊婦1人が殴られ気絶し、病院へ搬送された」と話した。組合の代表者は、「12/27に解雇された従業員の復職を会社側は受け入れた事により、労働者達は内務省でのデモ活動を中止した。しかし、警察官が行った暴力行為に足して、正式に省庁に対して不服を申し立てる」と述べている。

Ang Snuol 地区の警察官は「我々は暴力を振るっていない。もしそう主張するなら、証拠を見せて欲しい。カンボジアは法治国家であり、我々は法に守られているのだ」と語っている。

⑥ カンボジア連合組合は、大規模ストライキをほのめかす

Cambodia Confederation of Unions(CCU)は、12/30に300人のメンバーを要しデモを行い、フンセン首相に対し、「このまま縫製業の賃金上昇がなければ、数千人規模のストライキが起こるだろう」とほのめかした。

CCU Rong Chhun 代表は、フンセン首相に対し、「月給を61ドルから150ドルに上げるよう要求し、隣国の賃金が170ドルから260ドルであることから、行き過ぎた要求ではない」と主張している。

また昨今、頻発している失神にも言及し、「その原因は給与が少ない事により、食費を抑えざる得ない逼迫した状況が根源になる」と話した。

3. カンボジアの新しい港

プノンペン自治港は、輸出入の増加に応え、正式に2つの港を1月中に開港すると発表した。またプノンペン自治港は2014年に株式上場される一社として名前が上げられている。

プノンペン自治港の Hei Bavy 代表は、「フンセン首相が統括のもと、Kandal州の新しい港が1月21日に開港する予定だ」と述べた。そして「Kampong Cham 州の新しい港は来年早々に操業されるだろう」とも語った。また輸出の主な商品は農産物と衣類となり、新しい港の建設にあたっては、中国政府から6,800万ドルの出資があったと言われている。

以上